

年頭の「あいさつ」

廿日市市長 松本 太郎

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、良き新年をお迎えのこととおよろこび申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は、本市にとっても、私にとっても、スタートの年となりました。

長年の懸案でもあった新機能都市開発事業の工事がスタートし、さらに10月には宮島訪問税の徴収を開始しました。

私としても、引き続き2期目の市政の重責を担わせていただくこととなり、身の引き締まる思いです。

コロナ禍の影響が縮小する中、これまで制約の多かった生活やさまざまな行事などに回復がみられ、以前の活気を感じられた年になったのではないかと思います。

本市としても、変容する社会に対応しながら、未来を創造し、

「住みたいまち 住み続けたいまち」として選ばれる魅力あるまちになるよう、引き続き取り組んでまいります。

持続可能な観光地域づくり

宮島を訪問される皆さまから託された税の重みを深く受け止め、先人が培い、守り受け継がれてきた宮島の普遍的価値を発信し、「島をいつくしむ想い」を、宮島に関わる全ての人と分かち合い、世界遺産宮島の持続可能な観光地域づくりの財源として有効に活用していきます。

選ばれるまちに

住工混在の解消による良好な市街地形成と、経済の発展、雇用の確保などを図るため、新機能都市開発事業、未来物流産業団地造成事業を着実に推進します。

これらの事業に併せて、市役所周辺のシビックコア地区において、工場などの移転跡地を活

用し、土地の高度利用や公共公益施設、商業施設などの都市機能を集積させ、さらなるにぎわいと魅力あるまちを創出し、持続可能な暮らしやすいまちづくりを進めてまいります。

活力あるまちにするために

スポーツや文化は、多くの人の心を前向きにし、市民が心豊かな生活を送るために不可欠なものです。本年4月に開催する「アジアトライアスロン選手権2024廿日市」のほか、モン・サンミッシェル市との観光友好都市提携15周年記念事業など、スポーツや観光交流、文化交流などを通して本市を世界へ発信するとともに、活力あふれるまちづくりに取り組みます。

次世代に向けて

2期目にあたり、私が特に重点をおいているのは「子ども」に関する政策です。この中で、「子どもが主役のまち」を宣言

し、まち全体で子育てを応援する機運醸成や雰囲気づくりなど、子育て世代が安心して子育てできる環境を整えてまいります。ゼロカーボンシティの実現に向け、昨年は、広島ガス廿日市工場で発電したCO2排出量の少ない電気を市役所・文化センターなどで受給する「電力の地産地消」の取り組みを始めました。本市の豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐため、今後

他の公共施設などに広げていき、「オールはつかいち」で2050年カーボンニュートラルを目指した取り組みを展開してまいります。

幸多き一年に

新しい年が、市民の皆さまにとりまして、健やかでよろこびに満ちた一年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とします。



2024/廿日市 アジアトライアスロン選手権

問い合わせ アジアトライアスロン推進室 ☎09220

アジアトライアスロン選手権とは

アジアの国と地域が加盟するトライアスロン競技団体であるアジアトライアスロンの公認大会で、その年のアジアチャンピオンを決めるトライアスロンの国際大会です。

廿日市市での開催は、平成28年、令和3年に引き続き3回目となります。

今回開催される競技部門はエリート、エイジ、リレーの3部門です。

エリート部門ではオリンピックを目指すアジアのトップアスリートたちが集結します。今大会はパリ2024オリンピック競技大会の出場資格に関わるポイント付与対象大会となります。

みやじま国際パワートライアスロン大会との違い

今年度ファイナルを迎えた「はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン」は、宮島を臨む大野瀬戸をスタートし、吉和でフィニッシュするワンウェイ（片道）コースでした。

今大会は、廿日市市パークゴルフ場沖をスタートし、主に県道247号廿日市港線（木材港南～グローバルリゾート総合スポーツセンター サンチェリー）を周回するコースです。

「みやじま国際パワートライアスロン」の終了を惜しむ皆さんには、ぜひアジアトライアスロン選手権への出場、応援をお待ちしています。

感動を体感できる大会を一緒に作りませんか

大会に出場する選手や、ボランティアを募集しています。申し込みは、大会ホームページで受け付けています。



エリート部門 コース予定図

コース

- スイム コース
- バイク コース
- ラン コース



※12月19日時点のコース予定図です。今後変更となる可能性があります